令和6(2024)年 12月6日発行　第162号

こびとのおうちえんLetter 12月号

11月になり、おへやの中がひんやりしてきた。おそとは日があたるととてもあったかいので、来た子から「あったかいバリアー行ってくるねー」とおりていく。そしてもう人数がそろえば、けいどろもはじまってひとあそびしてからのおそとでのモーニングミーティングが定番。おひさまあたると「あったかーー」かとれると「さむーー」そんなのを肌でバンバン感じて1日スタート。11月のはじめ、ビジターのくちゃんが教えてくれた「大阪にはうまいもんがいっぱいあるんやでー」のうたの中の「なんでやねん！」っていうフレーズが気に入ったこどもたち。ことあるごとに「なんでやねん！」とつっこみを入れて笑っている。朝の「おはようございまーす」の私に「おはようございまーす！」とふう

11月はこんなことしました

- 水たまりさんぽ
- けいどろ・雨けいどろ
- かわりおに
- おひめさまごっこ
- 冬いちごつみ
- むかごとり
- 魚釣り(まりふ)
- 田布施の大岩に行く
- うどん作り
- 般若寺でけいどろ、虫けりけり
- おりがみのお花づくり
- むかごごはんのおむすび作り
- ハヤトウリの浅づけ作り
- 黄色コースの山であそぶ
- のっぽちゃんコースさんぽ
- ピンクコースから赤コースを歩く
- だるまさんがころんだ
- 琴石山にのぼる
- 石城山にのぼる
- 恐竜公園～まちたんけん
- 鼓ケ浦であそぶ
- くさぎの実とり・山の広場
- ねこちゃんごっこ
- 室積海水浴場の砂浜であそぶ
- さつまいもほり
- 大豆をぬいて干す
- うさぎの原っぱであそぶ　etc…

が大きい声で言うようになってうれしい私。気もちいい季節がつづいてるこの頃。

12月のペアレンツ・グループ

16日(月) 13:00～15:00
場所　もみじの家
内容　フィーリング・グループ
「今」の自分をていねいに感じる時間。ご一緒しましょう。
※事前に参加の連絡をおねがいします。
当日の朝でもOKです。

キッチンスタッフより

この間、誰かが、おうちえんの朝のミーティングで、「散歩で冬いちごを探して食べる」と言ってるのを聞いて驚いた。え、もうその季節？　私はこんな場所に住んでいながら、最近は車での移動がほとんど、また犬のももちゃんがいなくなってからは散歩がないので、ゆっくり周りの山道を見て回ることもほぼなくなってしまった。もう冬いちごがなっているんだね。そう思うと、あの甘酸っぱいプチプチとした実の味や、採るときにチクチクと腕に当たるあの葉っぱや茎の感触がありありと思い出された。

長男が小学6年生のときは、長女が4年生、次男が1年生で、3人で歩いて毎日通学していた。6時に起きて6時50分に家を出るのだが、途中いちごを見つけると、立ち止まっては採って食べるので、集合時間ギリギリになるようなことを言っていた。いちごといっても、その実は小さいものだから、見つけたとしてもその分配方法が難しいと思われる。これは昔、長男が担任の先生に出す日記を読んで知ったことだが、「通学途中にいちごがあったときは、見つけた人が1番大きいのをもらえるというルールです」と書いてあった。そうやったん？！知らんかったー。たぶん何回か揉めるうちに、子ども達なりにうまくいくやり方を見つけたんだろうなと思うと、いちごが、自然が、子ども達に与えてくれたものは美味しさだけではなかったのかなと感じる。

今、そんなことを子ども達に聞いたら、覚えているだろうか？もしかしたら、はっきりとは覚えてないかもしれないが、記憶の引き出しの中には必ず入っていて、必要なときやなにかのきっかけで、蘇るのだろうと私は思っている。

少し前、私は友達に誘われて「サトウハチロー」という昔の詩人の劇を観に行った。サトウハチローが複雑な家庭に育ち、波乱万丈の人生の中で、常に母親の愛を求め続けるという物語だった。その最後のシーンで、「ちょちょちょあわわ、かいぐりかいぐりとっとのめ」というわらべうたが流れてきた。その瞬間、私がまだ2、3歳だった頃、母がその歌を歌いながら、手遊びをしてくれた場面が脳裏に広がり、気がつくと私は泣いていた。私の母は、数年前に亡くなっているが、別にそのことをいつも悲しがっているというわけではない。でも、その歌を聴いた瞬間、母の歌う声や、母の手が歌に合わせて、私の手や顔を触る感覚までが、さーっと蘇ってきたのだ。約50年前のことが。私の記憶のどこの引き出しにこの歌はしまわれていたのか、ぽかぽかする心で、その不思議さをしみじみと感じた。

幼い子ども達をめぐる日々は、本当に忙しい。しかし、お母さんやお父さんや周りの人々との経験、そして、それを後押ししてくれる季節の移ろい、自然の懐の深さ、そういうものが、おうちえんの子ども達をずっと支えてくれると、私は信じている。

大下 里香

12月のスタッフプラン

・くさぎの実で染めもの

☆13日(金) おべんとうの日
～弥山にのぼろう～
※詳細はメールにておしらせした通りです。

☆おむすびの日…6日(金) 20日(金)
(※27日(金)は、キッチンスタッフが作ります。)

♥おべんとうの日、おむすびの日、準備おねがいします！

※冬休みは12/28(土)～1/5(日)までです。

_____の様子をおしらせします。

それまでもよさんぽに行けば、むかごとりをすることは多々あるのだけど、ここんとこ「むかごとり」が熱い。

11/27. いろおにを終えたゆずき、ちほ、いちか、とおひめさまごっこしてたあみ、みお、とおはなつみに行くことに。そして歩いてるのだけど、むかごや冬いちごにキョーミありあり。それで、もみじのいえの方にさがしに行くといっぱいあってたくさんとった。「おはなつみじゃなかったねー」と言ってた。

11/28. ちほが朝来たときから、「今日はむかごとり」と決めて来てた。それをM.Mで言うと、ゆずき、かほ、いちか、みお、も「むかごとり」と言う。ゆずき、りっか、は、うさぎの原っぱに。みお、いちか、かほ、ちほ、は、恐竜公園方面へ。どちらも豊作。

そして午後、私もむかごとりしたいな。まだ行ってないけどありそうなポイントあるから教えたいな。そしたら、かほといちかが行くって！

今日は強風だった。むかごが道路にいっぱいおちてる!! すごい量だ。1番乗りにかほが気づいた。めっちゃひろうかほ。そんな姿を見るのはじめて。「風さんありがとうーー」「風さんのおかげ～」と言ってる。そしてどんどん山の方へ進んだ。うれしい姿。一緒に行けてよかった。いちかもたくさんとってたべてた。1日中よく歩いたね。

11/29. 朝やりたいことでりっかが「むかごさがす」と言った。

まだまだつがくむかご熱！そのまましゃりしゃり。焼いたらホクホク。

いろおにのとき、オニになったゆずきがおいかけてこない。さゆきが「なんでおいかけないの？」ゆずき「ずっとオニがしたいから。」さゆき「じゃあ、ずっとおいかけないの？」しばし中断のあと、うた「みんなとやりたいからおいかけることにしたんだって！」

何でそうなったかはわからないけど、こどもたちでどうしたいのか？どうするのか話してた。けいどろでさゆきゆずきがけいにになって、2人が大変そうと思ったふう、は、「ピンチになったり、大変だったら言ってね！」と声をかけていた。(11/5)

なおとがバナナおにをしたいと言ったけど、他にやりたい子がいなかった。なおとに「てらこやさんにやりたい人いるかききに行ってみる？」とたずねたら、「うん」勇気だして、でも軽やかに行った！結局はだれもやりたい人いなくてロナウなかったけど、動いたなおとよかった！そして、あみ、りんが、とかくれんぼしたり、あみよっことねこちゃんごっこしたりした。空を見上げる和やかな時間だった。おひるから、なおとはバナナおにした。走りまわってた。(11/19)

おひるごはんおとなりのきょうに「きょうちゃん、けいどろうまくなったねー」「どうやったらはやくなるかなっていた。

きょう「よくかんだらいいんよ。」(11/12)

ふう はっぱのおもちゃさん。「セミのぬけがらあんがいっぱいあります！」(11/11)

室積へ向かう車中、海をながめて、海から少しだけ出てる岩を見て、あみ「岩がおぼれそうになってる」(11/22)

みお、いちか、あみのおひめさまごっこがすてき。ドレス着てる設定。で、ヨヨある設定で。実際ドレス着てなくてもその世界を十分に満喫してたのしんでるのがステキ。アイテムはいらない。みお、くるくるまわりながら、「おしろでおどってるだけよ。」いちか「さあ、きがえましょ！」「次は青の花のドレスにしよ。」(11/5)

＊よっこのちょこっとおうちえん日誌～日々のあれこれ～＊